



Makabeishikai
Junkangogakuin

MJ かけはし

永年の歴史を紡ぐ、伝統ある学院
男女共学、主婦、社会人歓迎の開かれた学院

— 幅広い世代の人と共に学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍 —



令和5年度志願者概況

真壁医師会准看護学院は、平成27年5月に創立60周年を迎えました。この半世紀を超える歴史の中で、既に2,336名の卒業生を送り出し多くの卒業生が地域医療の担い手として活躍しています。

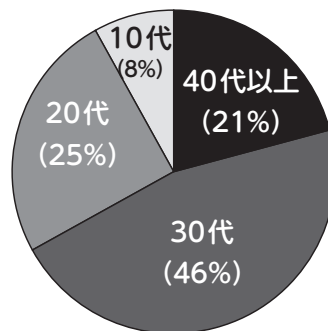
当学院志願者を地域別にみると、当医師会管内である筑西市・下妻市・八千代町・桜川市出身者が多く、次いで隣接する古河市・結城市・常総市などの県西地域全般に及んでおり、つくばみらい市・小美玉市等、県南・県央地域からも少数ながらも毎年志願者がいます。更には県境に近い栃木県小山市、真岡市など、通学1時間圏内でアクセス可能な各地域に広がっています。

社会人経験者のキャリア

- ・ 医療関係施設でヘルパーとして従事していた人
- ・ 介護・福祉系資格者が更にプラスワンの資格を求めて看護職資格を目指す人

新たに資格者として医療分野での活躍を目指す、明確なモチベーションと旺盛なチャレンジ精神をもった方々が多く見受けられます。

令和5年度 志願者の年代別占有率



少子化や不透明な経済状況の影響など、社会の構造的要因も相俟って、20代・30代・40代の幅広い層の社会人経験者の増加傾向が顕著で、その占有率は92%と高くなっています。

医療機関、介護・福祉施設に所属して学ぶ

入学者の多くは、医療機関や介護・福祉系の施設を始めとして、通学可能な範囲の施設などに所属し、給与収入の他、奨学金等の支援を得ながら、学んでいる生徒が多数を占めます。実際に、医療機関や施設等で働きながら学ぶ事ができる准看護学院のメリットを、多くの生徒が享受しているのが現状です。

各種給付金等を活用して 経済的負担を軽減

県・市町村・公共職業安定所（ハローワーク）等の定める各種修学資金、支援金等があり、条件が合えば在学時の経済的負担の軽減策の一つとして、これらの制度を活用することも可能です。

卒業後の進路（66回生）

卒業後の進路は、所属する病院・医院等へ就職する生徒が85%、正看等の看護学校への進学者が15%となっており、自分自身の将来像を見据えたそれぞれの進路選択をしています。

エッセンシャルワーカーとして看護の道を選ぶこと

「エッセンシャルワーカー」とは、私たちが生活を営む上で欠かせない仕事に従事している人々のことを指し、医療・看護・福祉分野の従事者が含まれます。

コロナ危機による経済収縮により、一般企業の求人にも大きな影響をもたらす可能性があるコロナショック。世の中の仕事の需給状況や、仕事を取り巻く環境は大きく変わってきています。この状況下、需要が高まっている職種がエッセンシャルワーカーと呼ばれる職種で働く方々です。今後、人々の活動が制限されたニューノーマルといわれる新生活様式が日常化する中、ライフライン維持のために働く看護職者へのニーズはさらに高まり、活躍のフィールドがますます広がります。

当学院では、幅広い年齢層の皆さんが医療機関等に所属して働きながら学び、卒業後は地域医療の最前線で活躍しています。是非とも当学院で学び、資格者としてのファーストステップを踏み出してください。

2021年、新型コロナ第4波が押し寄せた4月に、第66回生が入学し、卒業する2023年3月の間まで、コロナ禍は収束することなく続き、第8波迄コロナとの共存を余儀無くされた2年間。幾多の困難を乗り越え、第66回生34名が卒業しました。そして、当学院に入学した最大の目的である准看護師検定試験（2023年2月実施）において、14年連続全員合格の伝統のバトンが継承されました。

66回生の年齢構成は、10代25%、20代22.5%、30代22.5%、40代25%、50代5%と幅広く、入学前の経歴も千差万別、看護助手、介護士、整体師、保育園教諭、塾講師のほか、会社員（営業職・事務職・製造業職）等々多くの方々が異業種から、心機一転、リスキングにより資格を取得することが、これからの人生を切り開くチャンスと捉え、躊躇なく看護の道にチャレンジされました。

その66回生の2年後の進路先は、病院・クリニック25名、介護・福祉施設3名、訪問看護1名、進学5名となりました。4月からは、次の目標に向かい、それぞれの看護の道で新たな人生を歩みを始めました。

当学院を目指す皆さんのこれからのために、当学院生の2年後の実際を見て、自分自身の将来像に准えて、ポストコロナといわれるこれからの時代に活躍する看護職者としての姿をイメージしてください。2年間で人生が変わります。

看護職者に求められる6つの資質

看護職者は職業柄、様々なスキルが必要となります。看護師に求められる6つの資質について参考にして下さい。

◆向上心	医療業界は、日々新しい技術や情報が更新されています。資格取得に向けての勉強はもちろん必要ですが、看護師として活躍し続けるためには常にアンテナを張って新しい知識や技術を取得していく必要があります。
◆コミュニケーションスキル	患者さんに対して適切なケアを提供するにあたって、コミュニケーションスキルは欠かせません。相手の気持ちや思いを汲み取ることができ、自分の意見や気持ちをしっかりと伝えることで業務効率化が実現し、適切なケアが行えます。
◆共感力や想像力	看護職者のケアによって、患者さん本人や家族の不安や心配を取り除くことができます。共感力：他人の考えや意見を察知し、感情に寄り添う力 想像力：自分が経験していない物事を頭の中で思い描く力
◆責任感	命に関わる仕事であるため、責任感の強さは必須です。
◆体力・精神面のタフさ	看護職者として長く続けるためには、体力面や精神面でのタフさが必要です。上手くストレスと向き合う力を高めることで、看護師として必要なタフさが身に付きます。
◆明るさ	てきぱき動きながらも笑顔を忘れず、落ち着いて穏やかに患者さんと接することができることもとても重要なことです。

松田 善美 (45歳) 入学前の職歴：介護士

Q1 長年、介護士として働き仕事にやりがいも感じていました。ある夜勤の日、利用者より目がチカチカして胸が苦しい「助けて」と言われた時、私には何の知識もなく処置ができる資格も持っていない為、看護師が来るまで、ただ話を聞き、我慢してもらい待つ事しか出来ませんでした。糖尿病があり、食欲がなく、数日間食事を摂らなかつた為に起こった低血糖症状でした。看護師さんが駆け付けすぐに処置が行われ、患者さんは何事もなかったかのように回復した姿を見て、私も医学的知識を学び、人も助けたいと思い、准看護師の資格を取得する決意しました。

Q2 ①茨城県看護師等修学資金
②専門実践教育訓練給付金
③専門実践教育訓練支援給付金
④茨城県私立高等学校等就学支援金
⑤茨城県私立高等学校等奨学給付金
※給付金等の詳細は、4頁をご参照ください。

Q3 特に最初のころは、慣れない医療の専門用語に戸惑い、授業内容が難しく感じたので、毎日の授業で疑問に思ったことや理解できないことを、毎日コツコツ復習し、わからないことを積み残ししない取組みをルーチン化することが肝要だと思います。また、授業のない午前中や土曜日などに、看護助手として働いて収入を得られたことで、経済面の不安を払拭することができました。勉強と仕事の両立は大変なこともありましたが、資格取得の2年間限定と思い頑張れました。

Q4 介護士資格も持っているのでも、その知識を活かしながら、学院で学んだ医学的知識を根拠に、患者さんの不安な声に答え、それぞれの状態に応じた医療行為ができるよう自己研鑽に努めたいと思っています。

特に、介護施設で働いていた際に、認知症の患者さんで、ご自身の痛みや苦しみをうまく伝えられない方々と接してきた経験を活かし、認知症のケアを学び認知症を持つ人の視点や立場を理解しながら適切なケアを出る看護職者を目指したいと思っています。

Q5 介護老人保健施設

河田 秀一 (42歳) 入学前の職歴：印刷業、葬祭業

Q1 私は、入学前はセレモニースタッフとして働いていました。人生の終焉に立ち会い、ご遺族様のサポートをする仕事をしていって、ご遺族様より故人の生前のお話を伺う機会が多々ありました。そのお話の中で、故人やご遺族様を献身的に支える看護者の存在がありました。私とは違うかたちで、人々に寄り添う看護者の話を聞くうちに、健康や命の尊さをあらためて感じるようになりました。私も医療を通して直接的に人々に寄り添うような仕事をしたいという気持ちが強くなり、看護の道を志すこととなりました。

Q2 ①茨城県看護師等修学資金
②専門実践教育訓練給付金
③専門実践教育訓練支援給付金
④茨城県私立高等学校等就学支援金
※給付金等の詳細は、4頁をご参照ください。

Q3 看護は命を預かる仕事であることを自覚して、常に向上心をもって謙虚な姿勢で学ぶことを心がけました。学院では、教員、講師、実習指導者や患者さんから様々なことを学ばせていただきます。常に、学ぶ姿勢を忘れず、素直な心で受け止めることで、より多くのことを吸収することができ、成長することができると考えます。

Q4 患者さんが安心して治療を受けられる環境を提供できるように、患者様に信頼される看護者を目指したいと考えています。そのためには、看護技術の習熟はもちろんですが、コミュニケーション能力の向上や人間としての成長が必要と考えています。これから看護者として仕事をしていく中で、患者様一人一人を尊重する気持ちを忘れずに、日々学習を重ねて、自身が成長していけるよう看護業務に臨みたいと思います。

Q5 総合病院



富岡 恵子 (45歳) 入学前の職歴：事務職 整体師 看護助手

Q1 私は整体師として働いていくつもりでしたが、コロナ禍の影響で生活していくことが難しくなり、更に同時期に離婚も考えている中で、ご遺族様より故人の生前のお話を伺う機会が多々ありました。超高齢化社会が進展するいま、人と接することが好きだったこともあり、介護の仕事はどうだろうと調べていたところ、訪問看護の仕事をしてきた友人から、医療行為も出来る准看護師を勧められました。働いて収入も得ながら学べるメリットも大きなポイントでした。

Q2 ①茨城県看護師等修学資金
※給付金等の詳細は、4頁をご参照ください。

Q3 仕事と家事、そこに勉強が加わるので時間の使い方がとても大切です。まずは、授業をしっかりと聞いて、夜には毎日1時間と決めコツコツ勉強をする習慣を作りました。自然とこの生活リズムに慣れて、勉強しないと違和感を感じるくらいになりました。資格試験が近づく頃には、ドライヤーをかけながらアプリで問題を解いていました。テストや実習期間中は、辛いと思うこともありましたが、クラスの仲間が支えてくれて、あっという間の2年間でした。

Q4 いつかは、訪問看護に携わりたいと考えています。超高齢化社会の進展する中で訪問看護の需要が高くなっています。健康状態の悪化防止や回復に向けてのお手伝いだけではなく、利用者の異常にも気づき、対応できる看護師になりたいと思います。その為に進学し、正看護師の資格を取り、病院で5年以上経験を積みたいと考えています。60歳まで働いてから、訪問看護への転職でも良いと思っており、そこから自分のペースで70歳まで働ければ、自分の元気の源にも繋がります。人生100年時代に、やりがいのある仕事を長く続けたいと思っています。

Q5 看護専門学校進学



吉川 瑠奈 (21歳) 入学前の職歴：介護施設看護助手

Q1 介護士として働いていた際、入所者が転倒してケガをした際にすぐに処置をすることができませんでした。また、知識がなかったため入所者の状態の変化に気づいても、どう対応すればいいのかわからないといった経験が多々ありました。入所者が急変したり、いざという時に対応できるように看護の知識や技術を身に付け、自分にできる範囲を広げるために准看護師を目指すと思いました。

Q2 〇所属先からの奨学金
入学時諸費用 (357,105円：入学金・施設拡充費・教科書代・制服実習着代)、2年間の授業料 (748,800円) 等奨学金として受給。※所属先により諸条件あり。

Q3 一年生では「思いやりの心・主体性・協調性を養う」という学年目標が掲げられていました。二年生では「判断力・創造力・研究心を養う」が学年目標でした。私はこの目標を常に意識して2年間取り組んできました。目的意識を明確にして学んでいくことで何を学ぶべきか、どうするべきかを考えることができます。一つひとつ課題をクリアし次への段階へ進む中で成長を実感することができると思います。

Q4 技術面はもちろんのこと、患者の不安や苦痛などに気づき、精神的ケアも含め両面からサポート可能な看護師を目指しています。患者から安心して相談される親しみやすい存在になりたい。看護師として働いていく中で日々新しいことを学んでいくと思います。知識・技術のみならず、患者とのコミュニケーションやどうあるべきかを毎日学び、自分の目指す看護職者像に近づけるよう努めていきたい。

Q5 眼科クリニック



2年間で人生を変える!!

田中 健太郎 (43歳) 入学前の職歴：塾講師 営業職

Q1 営業職として働く中で、コロナ禍で日々計画を立て効率よく顧客先を回ることが出来なくなりました。コロナも一向に収まる気配もなく、この先、この仕事を続けていいの葛藤がありました。そのような中で、コロナ禍で医療従事者が「人の命」を救うために日夜働いている現実を知り、自分も何かできないかと真剣に考え、人のために働く准看護の資格を取る決意が固まりました。

Q2 ①茨城県看護師等修学資金
②専門実践教育訓練給付金
③専門実践教育訓練支援給付金
※給付金等の詳細は、4頁をご参照ください。

Q3 妻も医療従事者であるため、家事・育児など協力するように意識していました。看護学生は家庭を持っている人も少なくありません。自分の学習時間を確保するためにも、日々の家庭でのコミュニケーションを大切に、相互理解を深めることが自身の学習環境を整えることに繋がります。

Q4 20年程営業職の仕事に携わり、人の話を聞く事の重要性を認識しました。この点は看護職に似ている点だと思います。患者の小さな呼びかけ、シグナルに気付いて患者の立場になって考えられる准看護師になりたいと思います。

私は、介護施設で従事することを希望していましたが、相応の経験値が必要であることを知り、まずは、しっかり病棟で働いて、次の目標を模索したいと思っています。

Q5 総合病院 (介護施設併設)



佐藤 美香 (29歳) 入学前の職歴：病院看護助手

Q1 病院で看護助手として勤務し、患者さんと接する中で、助手ではできないことに数多く直面しました。痛みを訴える患者さんに「私はできないので、もうすぐ看護師さんが来てくれますよ」と励ますことしかできず、もどかしさを感じるとともに、知識や技術があれば患者さんの「いま」の訴えに、すぐに対応することができると思いました。また、離婚を機に、将来安定した収入を得るために資格が必要だと考え、家族や上司からの後押しもあり、働きながら通うことができる准看護学院に入学することを決心しました。

Q2 ①茨城県看護師等修学資金
②専門実践教育訓練支援給付金
③高等職業訓練促進給付金
※給付金等の詳細は、4頁をご参照ください。

Q3 学院生活だけではなく、プライベートでも看護学生としての責任感をもつように心掛けました。学院でのグループワークや実習の際には、協調性をもってクラスの仲間と関わるようにしました。また、学院と家庭の両立を図るため、生活リズムを整え心身の健康状態を保った上で、少しの空き時間でも参考書等を読む機会を作るなど、勉強時間を確保することにも注力しました。

Q4 忙しくても、患者さんの訴えに耳を傾けて、その患者さんが求めていること、聴いてほしいことを受け入れ、一人ひとりの患者さんに合わせた看護ができるように努めたいと思っています。

私は、一般病院で看護助手をしていた時、患者さんを精神的にサポートする難しさに直面した事があり、心のケアを専門とする精神科に興味を持ちました。医療従事者として研究心と協調性のある思いやりの心を忘れずに、身体的・精神的にも患者さんを支えていける看護職者を目指しています。

Q5 精神科系病院

奨学金・給付金を活用して資格取得へ

当学院の生徒の中でも、経済的な不安を抱える人は少なくありません。当学院ではその不安を解消し、経済的負担を軽減する為の奨学金・給付金制度を紹介しています。実際の各種奨学金・給付金の活用例を参考にしてください。

○ 異業種から看護職への転職を目指しているAさん(40代)

半年前に長年勤務した職場を退職。ハローワークで当学院が専門実践教育訓練給付金の対象校であることを知り、受験を決意。また入学時45歳未満のため、専門実践教育訓練支援金も受給。入学後は学業に専念し、地元医療機関への就職を目指している。返還免除制度がある行政からの修学資金と、ハローワークからの給付金を得ながら通学。



① 茨城県看護師等修学資金 **252,000円**

③-1 専門実践教育訓練給付金 **195,295円**(1年次)
150,000円(2年次)

③-2 専門実践教育訓練支援給付金 雇用保険の基本手当日額の80% × 受講日数

○ 地元病院で看護助手として勤務しているBさん(10代)

勤務先医療機関からの奨学金と給与収入、また返還免除制度がある行政からの修学資金を得ながら通学。



※勤務先病院からの奨学金(病院ごとに金額は異なる)

入学時諸経費(女性)177,000円の内、一部135,000円と授業料等400,000円/年を奨学金として受給

※給与収入 月額 **50,000円**~ **80,000円**程度
(病院ごとに金額は異なる)

① 茨城県看護師等修学資金 **252,000円**

○ 高等学校中退で介護職から看護職へのキャリアチェンジを目指すCさん(20代)

職場を退職、新しい職場で夫の扶養の範囲内で働き、ハローワークからの給付金と返還免除制度がある行政からの修学資金で学費等を確保し通学。

① 茨城県看護師等修学資金 **252,000円**

③-1 専門実践教育訓練給付金 **195,295円**(1年次)
150,000円(2年次)

③-2 専門実践教育訓練支援給付金 雇用保険の基本手当日額の80% × 受講日数

④-1 茨城県私立高等学校等就学支援金 **118,800円**
276,000円
(前年度所得によって異なる)

※給与収入 月額 **50,000円**~ **80,000円**程度
(病院ごとに金額は異なる)

○ 高等学校中退で異業種から看護職を目指すシングルマザーDさん(30代)

資格取得し安定した生活基盤を築くために、一般企業からの転職を目指し、自治体およびハローワークに相談。行政からの資格取得を目指すシングルマザーの生活費支援とハローワークからの給付金、また返還免除制度がある行政からの修学資金を受給。経済的不安が解消されたので資格取得を決意した。

① 茨城県看護師等修学資金 **252,000円**

② 高等職業訓練促進給付金 **1,200,000円**(1年次) **1,680,000円**(2年次)
846,000円(1年次) **1,326,000円**(2年次)

③-1 専門実践教育訓練給付金 **195,295円**(1年次)
150,000円(2年次)

③-2 専門実践教育訓練支援給付金 雇用保険の基本手当日額の80% × 受講日数

④-1 茨城県私立高等学校等就学支援金 **118,800円**~
276,000円
(前年度所得によって異なる)

④-2 茨城県私立高等学校等奨学給付金 **134,600円**
(住民税非課税世帯のみ給付)

各奨学金・給付金の詳細はこちら

① 茨城県看護師等修学資金

卒業後、准看護師免許を取得し、茨城県内の看護職員不足地域にある医療機関などに、看護職員としての業務に従事しようとする方。(看護職員不足地域に5年間継続して看護職員の業務に従事した場合、返還債務免除)

年4回支給
月額 **21,000円**

③-1 専門実践教育訓練給付金

●2年以上雇用保険の被保険者および離職者
●退職日より1年以内である
●前回給付を受けている人は3年以上空ける必要がある

教育訓練経費の50% (上限:年間40万円) 年2回給付
※所属施設での負担の場合は申請不可

※教育訓練経費(入学金・授業料など)
1年次 年額 **195,295円**
2年次 年額 **150,000円**

上記条件を満たし、なおかつ専門実践教育訓練を修了見込がある、45歳未満の失業状態にある方

③-2 教育訓練支援給付金 **80%支給**
雇用保険の基本手当日額の

※令和7年3月31日までの暫定措置

② 高等職業訓練促進給付金

●母子家庭・父子家庭の方
●児童扶養手当の支給を受けているか同等の水準にある方

毎月支給
市町村民税 非課税世帯 市町村民税 課税世帯
1年次月額 **100,000円** 1年次月額 **70,500円**
2年次月額 **140,000円** 2年次月額 **110,500円**

④-1 茨城県私立高等学校等就学支援金

●高等学校等を卒業していない方
●上限36ヶ月(高等学校などに在籍していた期間を除く)
●返還は不要 ※支援金額は所得に応じ決定。毎年7月頃に所得情報更新の為改めて受給資格の確認あり

年4回支給
月額 **9,900円**~
23,000円

上記条件を満たし、なおかつ非課税世帯の方

④-2 茨城県私立高等学校等奨学給付金 **134,600円**
年1回支給

※医療機関・介護施設で働きながら学ぶ場合(勤務先ごとに金額は異なる)

奨学金…例) 入学時諸経費(女性)177,000円の内、135,000円と授業料等400,000円/年を受給
給与収入…例) 50,000円~80,000円/月程度

眞壁医師会准看護学院 学費について

●授業料 年額 **276,000円** ●教材費 年額 **12,000円**
●実習費 年額 **24,000円** ●PTA会費 年額 **48,000円**
●クラス費・駐車場代 年額 **40,000円** **計 400,000円** ※前年度参考